

機能性フィルム研究会 第 24 回定期総会 & 6 月例会 開催プログラム(配信版)

機能性フィルム研究会 事務局

企画：理事 安田 大助/安田産業(株)

幹事 遠藤 幸典/日本化工塗料(株)

機能性フィルム研究会 2025 年度年次テーマ

「素材とコンバーティング技術で広げる機能性フィルムと未来」

◆ 開催日時:2025 年 6 月 26 日(木)13:00~17:00(予定)

◆ 会場：タワーホール船堀 5 階小ホール

◆ 受付開始:12 時 15 分から

◆ 例会開始:13:00~17:00

1. 13:00~13:45 (45 分) 第 24 回定期総会
2. 13:45~14:05 (20 分) 休憩
3. 14:05~15:05 (30 分×2 社) メンバーズ・インサイト((株)ユシロ、松尾産業(株))
4. 15:05~15:10 (5 分) 休憩
5. 15:10~16:00 (50 分)

講演①「世界初、厚肉二軸延伸 PP シート(TOP)と、BOPP 積層プレート(LOP)のご紹介」

株式会社エフピコ 総合研究所 基礎技術研究室 博士(工学) 中島 武氏

<講演のポイント>

世界初となる 150 μ m を超える肉厚の二軸延伸 PP シート(TOP)および厚さ 1~3mm 程度の BOPP 積層プレート(LOP)の製品の特長を紹介し、想定する用途での優れた物性や機能を具体的に紹介させていただきます

6. 16:00~16:05 (5 分) 休憩

7. 16:05~16:55 (50 分)

講演②「フィルムを中心とした内外装加飾技術(最新動向と今後の展望)」

* (題目が開催案内でご案内したものから変更されています)

D plus F Lab 代表(加飾技術コンサルタント)

(一社)加飾技術研究会 理事 伊藤 達朗氏

<講演のポイント>

加飾技術は物の価値(商品力)を高めるため、目的に合わせて様々な工法が開発され、多く分野に適用されている。中でもフィルム加飾は、印刷、蒸着、コーティング等を施してデザインされた加飾用フィルムを製品の 3 次元表面に配置させる技術で、この 30 年ほどで急速に普及した。今後の加飾技術には、見栄え目的だけでなく、機能付与、環境対応、少量多品種対応といった高付加価値化が求められている。今回講演では、フィルムを中心とした最新の加飾技術と今後の動向について解説する。

8. 16:55~17:00 (5 分) 閉会挨拶

- ◆ 技術交流会(事前申込必須) 17:15～19:15(予定)
会場:「大庄水産 船堀店」 東京都江戸川区船堀 4 丁目 2-6 エフシティ船堀 2 階
(http://search.daisy.co.jp/shop.php?shop_cd=1923)
- ◆ 問い合わせ先:kinou-reikai@kinouseifilm.com (矢島)

「機能性フィルム研究会開催行事に於ける新型コロナ感染対応について」*

2023 年 7 月 1 日

1. 発熱のある方や体調の優れない方は、参加をお控えいただきますようお願いいたします。
2. 新型コロナに感染された方は、有症状の場合、「発症後 5 日を経過し、かつ症状が軽快した後 1 日を経過するまでの間」、また無症状の場合、「検体を採取した日から 5 日を経過するまでの間」外出を控えることが推奨されておりますので、この間の現地参加はお控えいただきますようお願いいたします。
3. 現地参加者のマスク着用に関しては、個人の判断が基本となりますが、最近の感染者増加傾向を考慮し、マスク着用を推奨いたします。なお例会開催の場合では、講演者にはマスクなしで発表いただきますが、聴講者とは十分な距離を取って行ないます。
4. 受付時に手指消毒用消毒剤を用意しておりますので、随時ご利用下さい。
5. 今後の社会状況の変化によって対応を変更する場合には適宜ホームページ等でご案内いたします。

以上